

== 理念 ==
人とのつながりを大切にした福祉活動で、だれもが笑顔で心豊かに生活できる地域社会を目指す法人です。

== 指針 ==

- ① 地域の人から頼られる介護福祉サービスを提供するために成長する。
- ② 地域の人との交流を深め、当法人の専門性や資源を地域に提供する。
- ③ 地域の課題やニーズを発見し、地域住民・関係者と連携しながら不足する福祉活動を展開する。

働きやすい
職場づくりに
取り組む
事業所認定

ぐんま介護人材育成宣言

~~~~~ 令和2年度取り組みの重点 ~~~~~

- ① 活動開始20年イベント等の企画・実施
- ② 長期目標から新たな活動の検討
- ③ 多様な介護サービスを実践できる人材の育成 各事業所間の職員交換研修を実施
- ④ 法人全体の安定経営の検討

## 地域密着デイの喜楽 いよいよオープン！

~~ 理念 ~~  
私達は本人と家族が安心して自宅生活を続けられるよう支援します。

~~ 指針 ~~

- ・私達はその人らしさを大切にします。
- ・心おだやかに安心していただけるよう寄り添います。
- ・私達は人との交流を通して笑顔の輪を広げます。
- ・私達は暮らしの中で共に協力し合い、出来る事を増やしていきます。



令和2年度取り組みの重点  
「地域密着デイの喜楽」は令和3年3月1日より事業開始となりました。  
場所は、これまでの「デイサービスセンター喜楽」と玄関を向かい合わせでのお隣になります。事業開始に先立ち、皆で理念・指針を話し合っていました。

事業開始前には  
リフト浴の講習も  
行いました。



## ケアプラン介護相談・訪問介護・支え合い活動 ここに事務所を集中！

玄関内側のドア一つあけると  
◎相談したい担当者がある！！  
(ケアプラン介護相談・訪問介護・支え合い活動)  
◎各活動は互いに連携が  
取りやすくなりました。

ケアプラン介護  
相談の責任者・  
陶山です。いつ  
も心を込めて…



大規模災害時における専門チームによる支援  
ケアマネージャー 陶山典子

今月で東日本大震災から10年になります。  
「おたがいさまネットワーク」でも介護職員2人をボランティア派遣し、理事長は物資を届けるなどの支援を行いました。

今回のコラムは、災害時に介護サービスや専門チームはどのように支援を行うかについて調べてみました。

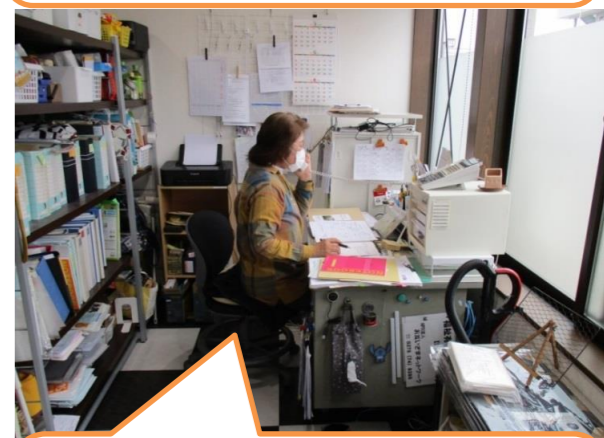
- ① 大規模災害派遣され専門性や経験を生かして高齢者や障がい者らの支援にあたる「災害派遣チーム」の設置が全国で進みつつあります。介護福祉士や看護師、保育士などの専門職で構成する4~6人のチーム単位で活動「DCAT(ディーキャット)」とも呼ばれますが、昨年1月末時点で26府県に設置されています。
- ② 災害などで介護サービスの提供が中断すると、高齢者らの生活への影響が大きいと思われます。新型コロナなど感染症も含め、いつどのような事態が起こるかかわからず難しさもありますが、介護保険事業者にはBCP(事業継続計画)をしっかり備えておくことが求められています。

「介護事業者のBCPはまちまちで、発災から3日程度を想定した初動対応レベルのものもありますが、非常時にどのように切り盛りしていくかを、少なくとも2週間程度について定めておくことが望ましい」とされています。

上記の2つの計画は、まだまだ活動が広がっていないのが現状です。当法人も災害時は避難場所になっています。東日本大震災から10年の節目に災害時の備え、避難場所の位置等あらためて見直す必要を感じています。



訪問介護の責任者・飯島です。  
後ろの掃除機は、訪問支援の必要道具なんですよ~~今日もタッチ&ゴーで出かけます。



支え合い活動コーディネーター・坂田です。  
後ろの沢山の書類は、これまで20年の実績の積み重ね！！利用者さん・協力者さんこれからも支え合いをご支援くださいね。